

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

モノエタノールアミンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

ET9702-3

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： モノエタノールアミン
- 2) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 3) 暴露方法： 半止水式 (週に3回、試験液の全量を交換)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 連数： 1濃度区につき4連
- 6) 生物数： 40頭/1濃度区 (1連につき10頭で1濃度区40頭)
- 7) 試験液量： 500 mL
- 8) 試験水温：  $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 9) 照明： 室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 給餌量： ミジンコ1頭当たり、藻類を0.1~0.2mgC (有機炭素含量) /日
- 11) 試験濃度： 対照区, 1.00, 3.00, 9.00, 25.00 および75.00mg/L (公比3.0)
- 12) 試験液中の被験物質濃度の分析： GC/MS法 (0日と3日、3日と5日および9日と10日)

### 結 果

- 1) 14日間の親ミジンコの50%致死濃度 (LC50)  
= 20.17mg/L (95%信頼区間: 16.25mg/L ~ 25.66mg/L) (Moving average 法)  
21日間の親ミジンコの50%致死濃度 (LC50)  
= 15.75mg/L (95%信頼区間: 12.38mg/L ~ 20.31mg/L) (Moving average 法)
- 2) 14日間の親ミジンコの50%繁殖阻害濃度 (ErC50)  
= 0.88mg/L (Binomial 法)

21 日間の親ミジンコの 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50)

= 2.52mg/L (95%信頼区間 :1.34mg/L~4.03mg/L) (Moving average 法)

3) 最大無作用濃度 (NOECr) = 0.85 mg/L

4) 対照区と有意差の認められる最小作用濃度 (LOECr) = 2.32 mg/L

(上記濃度は、全て測定値に基づき時間加重平均値を算出しその値を用いた。)